



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

整形外科

変形性股関節症について

運動器の障害による要介護の状態、および要介護のリスクが高い状態をロコモティブシンドローム(略してロコモ)と呼びますが、今回は股関節の障害について詳しく説明したいと思います。

股関節の障害をきたす主な疾患には変形性股関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死などがあります。その中で最も多いのが変形性股関節症です。我が国での単純X線像による変形性股関節症の有病率は1~4%程と報告されており、女性では2~7.5%と、特に女性に多いと言われています。症状としては、初期には動き始めに股関節(症例によっては膝関節まで)に痛みを感じるようになり、徐々に痛みのため歩行が困難となったり股関節の可動域が制限されてきます。

治療としては痛み止めの内服や日常生活で股関節に負担がかからないよう階段昇降を避けたり、杖や手すりの使用、減量、股関節周囲の筋力訓練などの保存療法を行いますが、症状が改善しない場合は手術を検討します。手術には年齢が若い方で関節軟骨が残っている場合は骨切術という関節温存手術が適応になる場合もありますが、関節軟骨が消失した末期股関節症の方に対しては除痛効果の高い人工股関節全置換術(Total Hip Arthroplasty)(以下、THA)(図1)が有用です。本邦でのTHA手術件数は右肩上がりで増えており、最近では年間6万件以上の手術が行われています。THAの有効性については世界で最もよく知られた医学雑誌であるLancetにも“整形外科における20世紀を代表する術式”と掲載され、多くの股関節障害に苦しむ患者さんに福音をもたらしたと報告されています。

THAの構造は骨盤側のカップ、大腿骨側のステム、ステムの上方に装着した骨頭、カップと骨頭の間の高分子ポリエチレンでできたライナーで構成されます(図2)。

大変有効なTHAですが、感染、脱臼、深部静脈血栓症、神経麻痺、大血管障害や人工関節周囲の骨折といった合併症もあります。長期的には人工股関節のゆるみや破損、摩耗がありますが20年以上使用できる場合が多くなっています。手術のための入院期間は2~3週間が一般的です。

股関節痛にお悩みの方は整形外科を受診し、早めに適切な治療を開始してもらい、健康寿命の伸延に努めて下さい。

(整形外科 部長 東 努)

図1 除痛効果の高い人工股関節全置換術



術前レントゲン



術後レントゲン

図2 THAの構造について



地域医療部

地域医療部の紹介

大分県立病院の地域医療部は、平成22年度に創設された部門です。平成22年10月に県立三重病院が公立おがた総合病院と合併して豊後大野市民病院となり、当院が大分県で唯一の県立病院となったことから、それまで県立三重病院が担ってきた地域医療支援部門を当院が担うことになりました。

地域医療部の主な業務は、公的な中核病院やへき地診療所などに人的応援をすることです。これらの医療機関で充足できていない外来診療の応援や、学会出張・病気・出産などに伴い病院・診療所医師に欠員が生じた際の代診医派遣などを行っています。今後は専門的な診療での応援要請にも可能な限り対応していきたいと思えます。

現在スタッフは2名で普段は内科や小児科を兼務しているため、マンパワーとしては十分ではなく、まだまだ限られた業務内容となっています。今後人的に充実してくれば、大分県の地域医療充実にさらに貢献できると考えています。

(地域医療部副部長 高木 崇)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら